

狂言師 茂山千三郎 演出による、伝統芸術に基づいた、圧倒的な様式美

今年の日本オペラプロジェクトは、オペラ×能×狂言。文豪・三島由紀夫が「生と死、美と醜とは」と問いかけ、石桁真礼生の音楽が幻想的な世界へと誘う『卒塔婆小町』と、木下順二の「日本の民話劇」に関西楽壇を牽引してきた大栗裕が作曲をした、関西が世界へ誇る名作『赤い陣羽織』を一挙に上演！作曲者の想いを汲み取り、先達への敬意を込めた牧村邦彦の指揮と、並河寿美、松本薫平など実力派歌手が織り成す歌絵巻。そして取りまとめるは、伝統芸能の伝承と狂言の可能性を追求し続ける狂言師・茂山千三郎。堺シティオペラとのコラボレーションは心に沁みるフィナーレが今でも思い出される2014年『ちゃんちき』に続いて2作目。どうぞご期待ください！

そとばこまち 〈第1部〉『卒塔婆小町』 初演:1956年 上演時間:60分

作:三島由紀夫(1925-1970) 作曲:石桁真礼生(1916-1996)

～あらすじ～

夜の公園で、ひとりの老婆が煙草の吸殻を拾っている。そこへ詩人が通りがかり、老婆に「あなたは一体誰なんです。」と問うと「むかし、小町と言われた女さ。私を美しいと言った男はみんな死にしまった...」と告げる。時空を超え、80年の時を遡り、煌びやかな鹿鳴館の舞踏会へ。



2022年 堺シティオペラ公演より

【Cast】

2/10 (土)



〈詩人〉
福嶋 勲



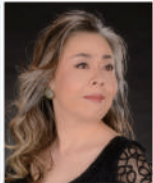
〈老婆/小町〉※一人二役
並河寿美

〈巡查〉東 平間 〈浮浪者〉茂山千三郎
〈男A〉総毛 創 〈男B〉奥村 哲 〈男C〉松澤政也 〈男D〉橋本恵史
〈女A〉李 裕璃 〈女B〉森原明日香 〈女C〉宮本佳奈 〈女D〉高寄こず枝

2/11 (日)



〈詩人〉
伊藤 正



〈老婆〉
福原寿美枝



〈小町〉
東野亜弥子

〈巡查〉東 平間 〈浮浪者〉茂山千三郎
〈男A〉西影星二 〈男B〉西村圭市 〈男C〉池田真己 〈男D〉橋本恵史
〈女A〉西山加奈子 〈女B〉村岡 瞳 〈女C〉糀谷榮里子 〈女D〉高寄こず枝

【堺シティオペラ記念合唱団 Female】

ソプラノ: 大上りあ、久保美琴、小林夏実、中村理子、西村菜月、松浦 優、山本千尋
アルト: 倉橋 緑、瀬戸口文乃、田中玲奈、土岐真弓、永田雅子
西村 薫、椛本かおる、森 理奈、森本 桜

S
T
A
F
F



〈指揮〉牧村邦彦



〈演出〉茂山千三郎

合唱指導=岩城拓也 装置=増田寿子 照明=原中治美 音響=小野隆浩(びわ湖ホール)
衣裳プラン=茂山千三郎 衣裳=(有)サブ・アーツ、鶴岡雅子 ヘアメイク=株式会社 丸善
副指揮=坂口尚平、藤村知史、葛城郁也 稽古ピアニスト=梁川夏子、蜷川千佳、中谷友香
舞台監督=青木一雄 演出助手=唐谷裕子 字幕=舞台字幕/映像まうち
制作=堺シティオペラ一般社団法人、兵庫県立芸術文化センター
協力(赤い陣羽織)=公益社団法人大阪フィルハーモニー協会

あかじんぼおり 〈第2部〉『赤い陣羽織』 初演:1955年 上演時間:70分

作:木下順二(1914-2006) 作曲:大栗裕(1918-1982)

～あらすじ～

ある村に、さえないおやじとそれに不釣り合いな笑顔良しで働き者の女房が暮らしていた。そこに自慢の“赤い陣羽織”を着た女好きのお代官が横恋慕。慌てた亭主のとんだ勘違いで“赤い陣羽織”をめぐる、てんやわんやの大騒動！



2022年 堺シティオペラ公演より

【Cast】

2/10 (土)



〈おやじ〉
中川正崇



〈おかか〉
西田真由子



〈代官〉
藤田卓也



〈奥方〉
水野智絵

〈庄屋〉片桐直樹 〈子分〉橋本恵史 〈門番〉加護翔大、中野嘉章
〈孫太郎〉茂山千三郎

〔腰元〕糀谷榮里子、小林夏実、永田雅子、西村 薫、西村菜月、吉城千代子

2/11 (日)



〈おやじ〉
松本薫平



〈おかか〉
大岡美佐



〈代官〉
松原 友



〈奥方〉
溝越美詩

〈庄屋〉片桐直樹 〈子分〉孫 勇太 〈門番〉加護翔大、中野嘉章
〈孫太郎〉茂山千三郎

〔腰元〕大上りあ、小林夏実、永田雅子、西村菜月、森原明日香、李 裕璃

【管弦楽】

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団



日本オペラプロジェクト

“日本オペラ”(日本人作曲家によるオペラ)の隆盛と関西オペラ界の活性化を目指し、2013年より兵庫県立芸術文化センター阪急中ホールを拠点に関西・全国の出演者、スタッフ、オペラ団体、劇場などが結集。これまで團伊玖磨「夕鶴」「ちゃんちき」、尾上和彦「藤戸」、水野修孝「天守物語」、林光「森は生きている」を上演してきました。